

議案第86号

令和6年度

池田市水道事業会計決算説明書

1. 水道事業決算報告書（決算書P. 1～4）

（1）収益的収入及び支出（P. 1～2）

〔収入〕

水道事業収益の予算額は、2,480,424,000円を計上しました。

水道事業収益の決算額は、2,467,158,398円で、予算額に対し13,265,602円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業収益	2,156,446,611円
（うち、仮受消費税	194,975,679円）
営業外収益	310,710,358円
（うち、仮受消費税	12,245,705円）
特別利益	1,429円
（うち、仮受消費税	129円）

〔支出〕

水道事業費用の予算額は、2,345,467,000円を計上しました。

水道事業費用の決算額は、2,214,571,833円で、予算額のうち130,895,167円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業費用	2,073,265,800円
（うち、仮払消費税	69,905,214円）
営業外費用	140,581,080円
（うち、仮払消費税	3,324,700円）
特別損失	724,953円

（2）資本的収入及び支出（P. 3～4）

〔収入〕

資本的収入の予算額は、1,301,412,000円を計上しました。

資本的収入の決算額は、891,529,632円で、予算額に対し409,882,368円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

工事負担金	22,802,032円
（うち、仮受消費税	942,548円）
企業債	852,200,000円
補助金	15,626,000円

他会計補助金	840,000 円
固定資産売却代金	61,600 円
（うち、仮受消費税	5,600 円）

[支 出]

資本的支出の予算額は、2,605,678,000 円を計上しました。

資本的支出の決算額は、2,075,504,146 円で、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額が 415,959,200 円で、予算額のうち 114,214,654 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

建設改良費	142,304,764 円
（うち、仮払消費税	12,715,964 円）
企業債償還金	657,008,682 円
第 2 次施設整備費	1,274,777,671 円
（うち、仮払消費税	110,485,273 円）
その他資本的支出	1,413,029 円

なお、消費税及び地方消費税納付額は 10,244,400 円で、仮受消費税 208,169,661 円（収益的収入仮受消費税 207,221,513 円と、資本的収入仮受消費税 948,148 円を加えた額）から、控除対象消費税等相当額 197,721,209 円（収益的支出仮払消費税 73,229,914 円と、資本的支出仮払消費税 123,201,237 円及び貯蔵品購入仮払消費税 2,381,944 円の合計額から控除対象外消費税相当額等 1,091,886 円を差し引いた額）及び貸し倒れ等に係る調整額 204,052 円を差し引いた額です。

2. 水道事業損益計算書（決算書 P. 5～6）

当年度の水道事業の経営実績は、次のとおりです。

1. 営業収益 1,961,470,932 円に対し
2. 営業費用 2,003,360,586 円で、差し引き営業損失は 41,889,654 円となりました。
3. これに営業外収益 298,668,705 円を加えた額から
4. 営業外費用 128,103,866 円を差し引いた額 128,675,185 円が、経常利益です。
5. これに特別利益 1,300 円を加えた額から
6. 特別損失 724,953 円を差し引いた額 127,951,532 円が当年度純利益です。前年度繰越欠損金は 102,411,092 円で、25,540,440 円が、当年度未処分利益剰余金です。

3. 水道事業剰余金計算書（決算書P. 7～8）

[資本金]

前年度末残高 10,035,328,139 円から変動はありません。

[資本剰余金]

<受贈財産評価額>

前年度末残高 721,670,000 円から変動はありません。

[欠損金]

<未処理欠損金>

繰越欠損金前年度末残高 102,411,092 円に、当年度純利益 127,951,532 円を加えた額 25,540,440 円が、当年度未処分利益剰余金です。

4. 水道事業剰余金処分計算書（決算書P. 9）

当年度未処分利益剰余金 25,540,440 円について、利益剰余金処分数額として減債積立金に 25,000,000 円を積み立て、残額 540,440 円は翌年度繰越利益剰余金とするものです。

5. 水道事業貸借対照表（決算書P. 10～11）

令和7年3月31日現在の水道事業の資産、負債及び資本は、次のとおりです。

[資産の部]

1. 固定資産は、

(1) 有形固定資産合計 18,748,272,098 円

(2) 無形固定資産合計 652,684,523 円で

固定資産合計は、19,400,956,621 円（明細はP. 38～39に記載）です。

2. 流動資産は、

(1) 現金預金 3,006,988,741 円

(2) 未収金 349,929,962 円から貸倒引当金 6,214,766 円を差し引いた額 343,715,196 円

(3) 貯蔵品 26,941,269 円で

流動資産合計は、3,377,645,206 円です。

以上の固定資産と流動資産の合計 22,778,601,827 円が、資産合計です。

[負債の部]

3. 固定負債は、

(1) 企業債 7,966,184,159 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 7,966,184,159 円(明細はP. 40～43に記載)

(2) 引当金 350,794,681 円

引当金の内訳は、

イ 退職給付引当金 350,794,681 円で

固定負債合計は、8,316,978,840 円です。

4. 流動負債は、

(1) 企業債 695,134,700 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 695,134,700 円(明細はP. 40～43に記載)

(2) 預り金 111,815,809 円

(3) 未払金 695,956,316 円

(4) 引当金 33,465,606 円

引当金の内訳は、

イ 賞与等引当金 33,465,606 円で

流動負債合計は、1,536,372,431 円です。

5. 繰延収益は、

(1) 長期前受金 5,858,226,871 円から収益化累計額 3,715,514,894 円を差し引いた
2,142,711,977 円が繰延収益合計です。

以上の固定負債と流動負債及び繰延収益の合計 11,996,063,248 円が、負債合計です。

[資本の部]

6. 資本金は、10,035,328,139 円です。

7. 剰余金のうち

(1) 資本剰余金は、

イ 受贈財産評価額 721,670,000 円で

資本剰余金合計は、721,670,000 円です。

(2) 利益剰余金は、

イ 当年度未処分利益剰余金 25,540,440 円で、利益剰余金合計は、25,540,440 円です。

剰余金合計の 747,210,440 円は、資本剰余金合計 721,670,000 円に利益剰余金合計
25,540,440 円を加えた額です。

資本合計 10,782,538,579 円は、資本金合計 10,035,328,139 円と剰余金合計
747,210,440 円との合計です。

負債資本合計の 22,778,601,827 円は、負債合計 11,996,063,248 円と資本合計 10,782,538,579 円との合計です。